

團扇 前の空間に両手の人差指で一つの円を描いてから、右手で身体を煽ぐ身振り。

うっかり 五指の指頭を上にしし掌を内側にした右手を顔の前で右から左へさっと素早く通過させる。眼の前を速く通過したので、うっかり見なかったこと。

美しい 五指の指頭を上にしし掌を内側にした右手で鼻頭の上を右から左へさっと二、三度撫でる。鼻頭の滑めらかなことから、「美しさ」を暗示したもの。

写す (イ) カメラに写す。「カメラ」の手

まねで、レンズになぞらえた左手の前方少し離れたところから、五指の指頭を上にしし掌を前に向けた右手を、さながら、ものを吸い込むように五指の指頭を集め合わせながら左手の下に引き寄せる。前方の対象をレンズにおさめること。(ロ) 文章或は絵図を写す。左手の上に向けた掌の上に、掌を下に向け五指を

屈めた右手を、前方から引いて来て、五指の指頭をつける。前にあるものの物をそのまま紙(左手掌)に写し取る意味。

うっとり 「一杯くった」と同じ要領でする手まね。但し、この場の手の運動はスローです。

腕利き 拳にして手甲の方を上にした左手の腕に掌を下に向けた右手を叩たき降す。「腕」そのものを指示強調した身振。

腕前 「腕利き」と同じ手まね。

うどん 掌を上向けて五指を少々屈めた左手をうどんの鉢として、右手の人差指と中指を二本の箸として、長いうどんを口にもって行く動作身振。

鰻 両手の掌を下に向けて五指の指頭を左右夫々の頬に直角にさし、中指の指頭を頬につける。それを鰻の耳として、軽く両手をそのまま上下に動かす。

自惚れ 「威張る」を参照。鼻高の手まねをする。

馬 五指の指頭を上になし掌を向い合せた両手の手首のところで頭の両側につけ、こまかく動かして馬の耳を表わす。

うまい うまい(美味)。

(一) 右手の五指の指頭を左になしして、上向けた掌で顎の上を拭うようにする。食べた物がうまいので、涎を拭うこと。(二) 手の甲を右に向けた右手掌で、顎の下をこする。この手まねは「味」と云う意味にもなる。

(三) うまい(上手)。「腕前」「上手」と同じ手まね。

うまいことをした 手甲を右に向けた右手の拳で、顎を下から一、二度打つ。

生れる 五指の指頭を前方になし掌を向い合せた両手を腹の夫々左右両脇につけてから、両手を斜め下方に突き出し降す。腹から

出る身振り。

海 小指の指頭を舌頭でなめる真似(塩からさ表わす)をして、五指の指頭を左になし掌を上向けた右手を海の水面を表わすつもりで、五指をこまかく波打たせながら、肘を右へ引いて行く。

産む 「生まれる」と同じ手まね。

梅 右手の指頭を左になした人差指と中指の二指を(掌を内側に)下顎に平行にあてがい、次にその二指の指頭をこめかみの上辺りにつける。指を口唇にあてがうのは「赤」を意味し、こめかみの上辺りにつけたのは、頭痛の時梅汁を頭にぬることから出来た手まねであろうか。

敲たたまう 左手の掌の上に、指頭を上になした親指の右手を載せて上へ頂くようにさし上げる。

裏 「内側」と同じ手まね。